

「三村三平」について

現在住宅で埋まった馬橋西口や旭町、栄町、新松戸にかけての江戸川左岸地帯は、昭和中頃までは、江戸時代に新田開発された下谷三千石と呼ばれていた広大な水田地帯で、良質の田米やもち米を大量に生産にしました。

旧三村新田（昭和34年では戸数8戸）はその中央部に位置しています。

開発された各新田には豊作祈願と感謝を込めて、穀物の神・倉稲魂命稲荷社が祀られました。この為か稲荷社が多く存在しています。

三村新田稲荷神社の概要

三村新田稲荷神社は、松戸市西馬橋にある神社です。三村新田稲荷神社は、金杉から入植した平左エ門新之丞等が、寛文年間（1661－1673）当地三村新田を開発、名主三村氏の鎮守・三村新田の鎮守として奉斎したといえます。

社号 稲荷神社

祭神 倉稲魂命（うかのみたまのみこと）

住所 千葉県松戸市西馬橋4-589-1

祭日 10月14日、大杉祭2月27日

三村新田稲荷神社の由緒

三村新田稲荷神社は、金杉から入植した平左エ門新之丞等が、寛文年間（1661－1673）当地三村新田を開発、名主三村氏の鎮守・三村新田の鎮守として奉斎したといえます。

「千葉県神社名鑑」による三村新田稲荷神社の由緒

稲荷神社（三村新田11）

名主の三村氏の鎮守社として、新田開墾の折に奉斎。（「千葉県神社名鑑」より）

「千葉県東葛飾郡誌」による三村新田稲荷神社の由緒

遷宮記念碑

当三村新田は寛文年間金杉村の故平左エ門新之丞等に依り開田され、本稲荷神社は其の後開発の守り神として祀らる。

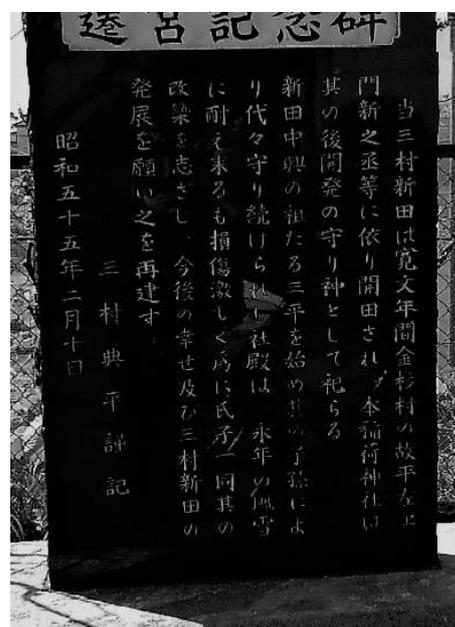
新田中興の祖たる三平を始め其の子孫により代々守り続けられし社殿は、永年の風雪に耐え来るも損傷激しく爲に氏子一同其の改築を志さし、今後の幸せ及び三村新田の発展を願い之を再建す。

三村典平謹記

昭和五十五年二月十日（境内石碑より）



写真はインターネットから借用



以上のことより、「三村三平」とは三村新田の名主と思われます。